

互いに赦し合うこと

マタイ18：21～35

キリスト教は「赦しの宗教」と言われています。しかし実際に、人を赦すことは簡単なことではなく、反対に非難したり、怒ったりすることが多いのではないのでしょうか。そしてトラブルを起こさないために努力をします。憤りを押さえ、自分を納得させるため、何回までは赦そうと決めますが、それは心の底からの赦しではないように思います。

弟子たちも、優しいイエス様に従う者なら、七度までは赦してあげるべきだろう… と考えていたようです。彼らはまだ、完全な赦しが何かを知らなかったのです。

しかし「イエス様の赦し」は、次元が違います。イエス様はどうあっても「赦しなさい」と私たちに語られるのです。それは、イエス様がまず愛のために乗り出して、私たちの失敗を覆うために、命を捨てて身代わりになって下さったところから始まります。その愛によって「赦す！赦さない!」と言っている私たち自身が、まずイエス様の無限の赦しを体験し、赦された恵みを心底悟り、そこから人を赦せる者に変えられ、イエス様によって赦された私たちは、イエス様によって、他人も、自分も赦せる人にして頂くのです。

聖書の学び

I、イエス様の赦し

1、ユダヤ教のラビたちは他人の罪を三度までは赦すように教えていました。イエス様の恵みを体験していたペテロは、どう考えていたのでしょうか？ (21節)

2、ところがイエス様は、何と答えられましたか。(22節)

II、なぜ、赦すことができるのか？

1、イエス様のたとえの中で、王は、家来の負債を免除してやりましたが、それはどれぐらいの負債でしたか。(24～27節)

①一万タラント：6,000億円 (1タラント=約6,000万円)・・・ 途方もない金額

②返せなかった場合：自分、妻子、持ち物全部を売ってそれに当てる

2、主人から負債を免除され帰った家来は、自分に少し借りのある仲間
(100デナリ=100万円) をどうしましたか。(28～30節)

3、なぜ家来は、自分の仲間を赦してやれなかったのでしょうか？
(33節)

①家来は主人に「もう少し待って下さい。そうすればすべてお返しします」と
言っています。(26節) (借金の重大さ、自分の愚かさが分かっていない。返せるような金額なのか)

②そもそも、自分が借金を免除してもらったことに対して、主人にかわいそうに
思っていたかと思っていたのでしょうか？(33、27節)

5、イエス様のたとえの結論、赦さない者はどうなるのでしょうか。
(35節)

Ⅲ、まとめ

※ エペソ4：32を読みましょう。

胃 潰 瘍 の 原 因

ある病院のクリスチャン医師のところに、若い裁判官が診察に来ました。

ある日、医者には聞きました。「私はあなたの胃潰瘍を治そうと努力をしましたが、少しも効果が上がりません。もしかしたら、心の中に、非常に憎んでいる人がいるのではないですか？」 暫く黙っていた若い裁判官は、ゆっくり話し始めました。

「子どもの頃、私の家と隣の家との間に、土地問題で争いが起き、隣の金持ちの主人が私の祖父を押し倒して死なせたのです。また、我が家の土地も奪ってしまいました。その時私は心に大きな傷を受け、大きくなったら裁判官になって、この恨みを晴らし、祖父の仇討ちをしようと決めて、そのように生きて来ました。」

この話を聞いた医師は「あなたの胃潰瘍の原因はその恨みです。その人を赦さなければ胃潰瘍は治りません！」彼は「赦しません！」と首を左右に振り、帰って行きました。

数日後、彼は以前よりも憔悴しきった姿で医師を訪ねて来ました。医師は彼の願い通り、共に跪いて、主に赦しのための祈りを捧げました。すると彼に平安が溢れ、その後回復し始め、やがて胃潰瘍は完治しました。彼はキリストを信じ、新しい人にされたのです。